



令和6年度 建設技術審査証明事業（下水道技術） —新規6技術，変更20技術，更新28技術—

令和6年度の第1回審査証明委員会が6月7日に開催され、今年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に依頼があった技術で、新規では6技術について審査を進めることが決定しました。

このほか、変更が20技術，更新が28技術あり，合計54技術が審査されることになりました。



令和6年度 建設技術審査証明（下水道技術） 新規の依頼技術

No.	技術名称	副題	技術分類 [技術の区分]
1	STUNP工法	非開削によるマンホールと大口径管きょ接続部の耐震改良工法	工法 [開発目標型]
2	BSACセグメント	耐硫酸性下水道ミニシールド工法用鉄筋コンクリートセグメント	資器材 [開発目標型]
3	(仮称) 新次世代型高品位グラウンドマンホール	下水道用鋳鉄製マンホール蓋	資器材 [開発目標型]
4	ハイレイズ工法	下水道管きょの更生工法（自立管） —形成工法—	更生・修繕技術 [開発目標型・基準達成型]
5	フラッシュライニング-S1工法	下水道管きょの更生工法（自立管） —形成工法—	更生・修繕技術 [開発目標型・基準達成型]
6	ジックボードVG工法（仮称）	下水道用自立マンホール更生工法 （防食性能付きシートライニング工法—）	更生・修繕技術 [開発目標型・基準達成型]

○技術の区分について

審査証明技術は、民間企業が掲げた開発目標を達成しているかを確認し証明する「開発目標型」と下水道機構が審査基準等（評価項目，試験方法，要求性能等）を示し，その確認を行う「基準達成型」の2つに区分されています（なお，混合されている技術もあります）。